

平成 30 年 6 月 20 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26285039

研究課題名(和文)日本の経済外交における非公式協議ネットワークへの参入過程の歴史的解明

研究課題名(英文)Historical Research on the Informal Networks in Japanese Economic Diplomacy

研究代表者

池内 恵 (IKEUCHI, Satoshi)

東京大学・先端科学技術研究センター・准教授

研究者番号：40390702

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,500,000円

研究成果の概要(和文)：中東における政治・経済・外交の非公式の人的ネットワークを現地の文献・文書資料の発掘と解読を通じて明らかにし、中東への日本の関与に関する官庁・企業の文書資料を発掘し、当事者へのオーラル・ヒストリー記録の採取を行なった。成果は「日本経済外交史プロジェクト・オーラル資料編：イラン革命と日系企業 第一冊 IJPC関係(2)」「日本経済外交史プロジェクト・オーラル資料編：イラン革命と日系企業 第一冊 IJPC関係(3)：永嶋達雄氏(元三井物産)」「ケイワン・アブドリ編訳・解説(鈴木均監修)『抄訳 ハサン・ロウハーニー回顧録』、池内恵編『IJPC研究の現状と課題 資料の所在と公開状況』にまとめた。

研究成果の概要(英文)：In this research project, exploration on original materials and primary sources concerning political, economic and diplomatic networks in the Middle East has been extensively conducted. Oral history hearings are also conducted to Japanese officials and businessmen who were in charge of Middle East affairs. During the period of this project, four working papers series are published from IDE-JETRO and RCAST U-Tokyo, including Japanese Companies Faced with the Iranian Revolution: The Case of IJPC, IDE-JETRO, 2015, Japanese Companies Faced with the Iranian Revolution: Nagashima Tatsuo Oral History, IDE-JETRO, 2015, Satoshi Ikeuchi ed, State of the Art in the Studies on IJPC: Primary Sources and their Disclosures, RCAST University of Tokyo, March 2018 and Keivan Abdoly tr. and annotation, Abridged Translation of the Memoir of Hassan Rouwani, RCAST University of Tokyo,

研究分野：国際政治学

キーワード：イラン 国際政治 日本中東関係史 日本政治史 イラン革命 IJPC

1. 研究開始当初の背景

中東と日本の間の外交・通商上の関係は、これまで日本政治史でも、中東研究でも、深く体系的に検討されたことが少なかった。本研究では日本・中東間の関係に携わる政界・官公庁・企業の人員の間の非公式のネットワークを解明することで、日本・中東間の関係の知られざる側面に光を当てることを目指した。

2. 研究の目的

本研究の目的は、中東を中心にした政治・経済・外交における非公式の国際的な人的ネットワークを対象化することである。

3. 研究の方法

本研究は官公庁・私企業のアーカイブから日本・中東間の関係に関する史資料を探索するとともに、オーラル・ヒストリーを重視した。

また、対中東経済外交の推進主体である官庁および民間主体へのオーラル・ヒストリー調査を中心に、経済外交の非公式ネットワークの実態を解明する作業を行った。また、石油を中心とした中東の経済外交が行われる世界的な中心は日本でも中東諸国でもなく西欧、特に英国であることから、ロンドンを拠点にした調査も行った。

特に、主要な研究分担者が総力を挙げて行ったのは、経済産業省および総合商社の元幹部への聞き取り調査である。1970年代から80年代にかけて、日本の対イラン経済外交の軸となった、IJPC(イラン・ジャパン・ペトロケミカル)について、政策的に援助した官庁側の資料を収集するとともに、推進を行った事業主体である総合商社の元幹部への聞き取りを多く行った。

4. 研究成果

3年間の研究プロジェクトは平成28年度末で終了したが、成果物としての刊行に値する資料が多く発掘され、それらを手掛かりにした今後の研究の展開が期待されることから、追加的な成果報告書の刊行のために、1年間の研究期間の延長を行い、平成29年度に追加の作業を実施した。

本研究の成果は、中東の政治・経済・外交におけるネットワーク分析を踏まえた現状と歴史の分析として『国際問題』『中東レビュー』等の専門誌に掲載された論文として発表されるとともに、プロジェクト期間を通して逐次発表した4冊のワーキング・ペーパー報告書にまとめられている。鈴木均編「日本経済外交史プロジェクト・オーラル資料編：イラン革命と日系企業 第一冊 IJPC 関係(2)」(日本貿易振興機構アジア経

済研究所、2015年)、鈴木均編「日本経済外交史プロジェクト・オーラル資料編：イラン革命と日系企業 第一冊 IJPC 関係(3)：永嶋達雄氏(元三井物産)」(日本貿易振興機構アジア経済研究所、2015年)、ケイワン・アブドリ編訳・解説(鈴木均監修)『抄訳 ハサン・ロウハーニー回顧録』(東京大学先端科学技術研究センター、2018年)、池内恵編『IJPC 研究の現状と課題 資料の所在と公開状況』(東京大学先端科学技術研究センター、2018年)。

本研究の成果の一つの特色は、ペルシア語によるオーラル・ヒストリー記録の発掘と、その分析と翻訳・抄訳による日本語での刊行である。本研究プロジェクトの調査の結果、ペルシア語等で既に採取された、それほど多くの目には触れられていないオーラル・ヒストリー記録が、イラン革命前の旧体制の要人についても、イラン革命後の現体制の要人についても、いくつか存在することが判明した。それらの一つ、革命前にイラン国営石油(NIOC)の取締役と、イラン石油化学(NPC)の社長兼会長を歴任し、日本の三井物産との合弁企業であるIJPCに深く関わったバーレル・モストウフィー氏の、ペルシア語でのオーラル・ヒストリー記録が、米国のThe Foundation for Iranian Studiesによって採取されていたことが判明したため、そこから日本に関係する部分を抄訳し、「バーゲル・モストウフィー氏インタビュー(翻訳)」として、本研究プロジェクトの成果物の一冊である『イラン革命と日系企業 第一冊 IJPC 関係(2)』の一部として、平成27年3月に、日本貿易振興機構アジア経済研究所から刊行した。これはイランの要人が日本との外交・エネルギー通商関係を結ぶ際に何を意図していたのか、日本側には明かすことのなかった真意を記録している。そのような資料を発掘し、日本語で専門家によって閲覧されることを可能にしたことは一つの学的貢献であると考えられる。

また、イラン大統領であるハサン・ロウハーニー(Hasan Rowhānī 1948年-; 大統領在職 2013年-)のオーラル・ヒストリー記録とされる『ハサン・ロウハーニー博士の回顧録 イスラーム革命(1962年~1979年) 第一巻』の生葉を刊行した。

そして、日本・中東の経済外交の歴史の中で最も大きな案件の一つと言える、イラン・ジャパン石油化学(IJPC)に関する史資料の全体像と公開状況をまとめた池内恵編『IJPC 研究の現状と課題 史料の所在と公開状況』は日・イラン関係研究の現段階の水準をまとめたもので、今後の研究の手引きとなるだろう。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 5 件)

池内恵「中東の地政学的変容とグローバル・ジハード運動」『外交』第28号, 2014年, 22-29頁

池内恵「中東地域の政治・安全保障における湾岸産油国の影響力 「アラブの春」後のGCC諸国の台頭とその持続性」『アジア研ワールドトレンド』第224号, 2014, 10-14頁

池内恵「「大国エジプト」の没落と再興 紅海岸諸国の雄としての台頭」『国際問題』第656号, 2016, 13-19頁

池内恵「中東諸国の紅海岸・アフリカの角地域への進出とその当面の帰結」『中東レビュー』第5号, 2017年, 5-8頁

宮城大蔵「サンフランシスコ講和と吉田路線の選択」『国際問題』第638号, 2015年, 6-15頁

〔学会発表〕(計 8 件)

Satoshi Ikeuchi, "Securitization of the Regime in the Post-Arab Spring Countries," Southern Political Science Association, 2015年1月14日-19日

Satoshi Ikeuchi, "New forms of state (in-)security: cybersecurity and terrorism," The Future of Capitalist Democracy: UK-Japan Perspectives, Royal Institute of International Affairs (Chatham House), 2015年9月21日

Satoshi Ikeuchi, "Expansion and Diffusion: Two Dimensions of Islamic States Growth," Southern Political Science Association, 2016年1月8日-10日

Satoshi Ikeuchi, "Interventions, security and democracy: lessons from the West's policy in the Middle East and North Africa," European Council on Foreign Relations, A Conference on Whither the Liberal International Order, 2017年3月12日

池内恵「イスラーム国の衝撃 国際テロの組織原理」戦略研究学会, 2016年7月9日

池内恵「中東の安全保障環境の激変と日本の関与」日本国際政治学会, 2015年10月31日

宮城大蔵「冷戦後の外交安全保障問題と政党政治」日本政治学会, 2016年10月01日~2016年10月02日

〔図書〕(計 10 件)

宮城大蔵『戦後日本のアジア外交』ミネルヴァ書房、2015年

宮城大蔵『現代日本外交史 - 冷戦後の模索、首相たちの決断』中央公論新社、2017年

池内恵『イスラーム国の衝撃』文藝春秋、2015年

池内恵『サイクス=ピコ協定 百年の呪縛』新潮社、2016年

御厨貴『戦後をつくる 追憶から希望への透視図』吉田書店、2016年

小宮京『自民党政治の源流』吉田書店、2015年

鈴木均編「日本経済外交史プロジェクト・オーラル資料編：イラン革命と日系企業 第一冊 IJPC 関係(2)」日本貿易振興機構アジア経済研究所、2015年

鈴木均編「日本経済外交史プロジェクト・オーラル資料編：イラン革命と日系企業 第一冊 IJPC 関係(3)：永嶋達雄氏(元三井物産)」日本貿易振興機構アジア経済研究所、2015年

ケイワン・アブドリ編訳・解説(鈴木均監修)『抄訳 ハサン・ロウハーニー回顧録』東京大学先端科学技術研究センター、2018年

池内恵編『IJPC 研究の現状と課題 資料の所在と公開状況』東京大学先端科学技術研究センター、2018年

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6．研究組織

(1)研究代表者

池内恵 (IKEUCHI, Satoshi)

東京大学・先端科学技術研究センター・准教授

研究者番号：40390702

(2)研究分担者

御厨貴 (MIKURIYA, Takashi)

東京大学・先端科学技術研究センター・客員教授

研究者番号：00092338

牧原出 (MAKIHARA, Izuru)

東京大学・先端科学技術研究センター・教授

研究者番号：00238891

宮城大蔵 (MIYAGI, Taizo)

上智大学・総合グローバル学部・教授

研究者番号：50350294

鈴木均 (SUZUKI, Hitoshi)

独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター・上席主任調査研究員

研究者番号：80414077

小宮京 (KOMIYA Hitoshi)

青山学院大学・文学部・准教授

研究者番号：80451764

(3)連携研究者

()

研究者番号：

(4)研究協力者

()